

発行者  
久宝寺小学校区まちづくり協議会  
会長 笠原 彰  
久宝寺地区福祉委員会  
委員長 佐野 公一  
八尾市北久宝寺2丁目1番1号



許麻の里

沢辺に生ふる

かきつばた

君か手毎に

水やかかさん

## いつまでも 心豊かに住み続けたいまち久宝寺を!! ～みんな一人ひとりがまちづくりの主役となって～

♡皆さまの声と力を合わせて  
より住みよく楽しいまち 久宝寺に!  
久宝寺地区では、久宝寺小学校区まちづくり協議会や久宝寺地区福祉委員会を中心に、その構成団体とともに子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象とした多彩な活動や行事の取り組みを進めています。それを支えているのは、何よりも住民の皆さまのご理解とご支援、ご協力であり、とりわけ、それらを担っている各団体の委員・役員をはじめ地域有志によるボランティアの皆さまの力です。

今号では、「地域の行事や活動に参加すること」「ボランティアとして活動すること」の意義や魅力について、さらにご理解をいただくとともに、「地域活動や行事に関わってくれる人がもつと増えたら嬉しいなあ」との想いで特集しました。

### ♡地域行事や活動に参加することの意義とメリット

◇そもそも地域活動の担い手はボランティアって？  
「ボランティア」の語源は、voluntas(自由意志)というラテン語からきています。自分のできることを自分の意志で周囲と協力しながら見返り求めずに行う活動のことを言います。地域でのボランティア活動は、地域社会をよくしていくとともに、活動する自身も豊かにしてくれる力をもっています。

◇そして「ボランティア」として地域活動や行事に参加する」ということは、単に人手や支援にとどまらず、個人と地域の双方にとって多くの意義とメリットをもたらすといわれています。

(1)まちづくりへの貢献ができます  
まず第一に、「まちづくり」への具体的な貢献です。地域行事や防災訓練、清掃活動、子どもや高齢者への支援活動など、ボランティアの皆さまの力によって地域課題への取り組みが進み、暮らしやすい環境が築かれます。公的な支援だけでは不十分な部分を住民自らが担うことで、地域の自立性や連帯感が高まり、「自分たちの地域は自分たちでよくしていく」という意識が共有され、これが持続可能な地域づくりにつながります。

(2)生涯学習の場として活かれます  
また、ボランティア活動は、「生涯学習」の機会として注目されています。地域のさまざまな活動に関わることで、新しい知識や手法、生活に役立つスキルを学ぶことができます。例えば、子ども達との関わりを通して教育への理解を深めたり、防災訓練に携わることや災害への備えを学んだり、生活の幅を広げる学びの場となります。

### 地域活動特集



(寺内町遠望)

また、ボランティア活動は、「生涯学習」の機会として注目されています。地域のさまざまな活動に関わることで、新しい知識や手法、生活に役立つスキルを学ぶことができます。例えば、子ども達との関わりを通して教育への理解を深めたり、防災訓練に携わることや災害への備えを学んだり、生活の幅を広げる学びの場となります。

さらに、普段接することのない職業の方々や世代の人々と触れ合うことで、多様な価値観や考え方に触れる機会にもなります。

これらの体験は、皆さまの年齢や経験を問わず、誰にとっても成長の糧となることでしょう。

(3)人とのつながりを保ち孤立を避けるために  
近年、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化といった社会課題が顕在化する中、地域住民一人ひとりの自主的な参画が、「いつまでも住み続けたい」持続可能な地域の実現に向けてますます大切になっています。ボランティア活動に参加することは、地域の人々と自然なかたがたに関係を築きかけとなり、お互いに顔の見える関係性が生まれます。

これにより、日常生活においても助け合いや見守りの気持ちや育まれ、安心して暮らせる環境が整っていきま

また、特にシニア世代にとっては、社会とのつながりを保ち、孤立を防ぐ上でも意義があります。自らの存在が誰かの役に立っているという活動を通じての体験は、生きがいや自己肯定感を高める効果もあります。

(4)生活の充実と心の豊かさ  
ボランティア活動に参加することは、日常生活に新たな刺激とリズムを与えてくれます。純粋な思いやりや共感が行動の原動力になり、物質的な満足では得られない精神的な豊かさを醸成できます。特に地域の行事などでは、子ども達や高齢者との交流を通じて、笑顔や感謝の言葉を受け取る場面も多く、これが更なる参加意識につながるという循環を生み出します。

(5)世代間交流と地域文化の継承  
地域活動は異なった多くの世代が関わる機会でもあり、地域活動に参加することによって、若い世代と高齢世代、親世代と子ども世代など、様々な世代が自然につながる事ができます。これは、地域文化や地域行事の継承にもつながり、世代を超えて知識や伝統、地域の誇りを伝える役割をもちます。

特に、年配の方々とのノウハウを若い世代に伝える機会をもつことは、地域社会の文化的な豊かさを維持していく上で欠かすことができないと言えます。

(6)災害時にも役立つ地域ネットワークづくり  
日頃の活動によって培われた人間関係や情報共有ネットワークは、災害発生など「イザ」というときに大きな力を発揮します。災害時には地域の連携が生死を分けることもあり、誰がどこにどのように住んでいるのか、誰にどのような支援が必要なのかを知っておくことはとても大切です。平時からの地域でのつながりが、非常時の迅速な対応を可能にし、地域全体の防災力を高めることにつながります。

(7)自身の可能性を広げる場として  
また、ボランティア活動は自分の新たな一面を発見する機会にもなるでしょう。

普段の生活では経験できないことに挑戦したり、他の人から認められたりする中で、自信がついたり新たな目標が見つかったりすることもありません。

仕事や家庭から離れた「第二の場所」として、地域活動に関わることで、人生の新たなステージを切り拓きかけになることもあるでしょう。



### ◇まとめとして

このように、地域の活動や行事にボランティアとして参加することには、まちづくりへの貢献という社会的な意義のみならず、個人の学びや成長、人間関係の構築、心の豊かさ、そして、日常生活の充実といった多くのメリットがあります。ボランティア活動は、誰もが自分のできる身近な行動です。地域社会を支えるひとりとして、まず、一歩を踏み出すことこそが、よりよい将来への一歩となるのではないのでしょうか。

### ♡久宝寺地区の取り組み

久宝寺地区の住民参加の活動や行事は、これまで地域関係団体を中心に、主にそれら団体に所属する委員や役員、そして、地域の有志の皆さまの力によって支えられてきました。

しかし、高齢化などの社会環境の変化や活動の多様化などから、活動の広がりや世代間継承の視点からの取り組みが求められてきています。

校区まちづくり協議会では、「ちよこつとボランティア」と称して、新たな取り組みを進めています。これは、従来の担い手を補完する位置づけで、住民の皆さまがご都合のよいときに、ご興味やご経験のある分野の活動に気軽に参加できる仕組みを作ろうとするものです。

「ちよこつとボランティア」対象の活動や行事は、都度広報板ポスターや回覧などでお知らせしますので、ふるってご応募いただきたくお願いします。

また、「久宝寺小学校区まちづくり協議会ホームページ」や「Instagram」「Facebook」で活動の状況や行事の近況を報告していますので、「久宝寺小学校区まちづくり協議会」をキーワードにご参照の上、関係する団体にお問い合わせください。



[ホームページ]



[facebook]



[Instagram]

地域活動に携わって！  
♡年齢を重ねて思うこと

久宝寺地区女性会 会長 川東佐江子  
この紙面に登場させていただいた理由？  
見渡せば、年長さん！！  
三人の子ども達は、地域で育てていただきました。  
お返しをせねばと、次男が3歳になった昭和50年  
に、子ども会、PTA地区委員、青少年指導員、久宝  
寺ジュニア会の発足に関わり、多くの仲間に出会い  
ました。

その後、昭和63年には保護司を拝命し、平成28年、  
定年退任、公民館、コミセン、福祉委員会の組織に  
入り、多くの先輩に勉強させていただきました。  
私の宝物です。  
子育てや親の介護と大変な時期も、地域活動と沢  
山の仲間が励ましとなり、この年齢になった今、喜  
びと感謝の気持ちで、毎日が楽しいと感じることが  
多いです。

数十年前の研修会の折、細かい内容は忘れてしま  
いましたが、講師の先生から、「喜ばば、喜び事が喜  
んで、喜びあつめて喜びに来る。」とお話がありま  
した。  
この言葉が、私の座右の銘となりました。  
若い保護者の皆さま、今！地域の何かに関わって  
下さい。  
年齢を重ねた時、色々な制約から解放された時に  
きつと、喜びがやってきました。  
ボランティアに少しの時間を作って参加されるこ  
とをお勧めします。  
年齢を重ねた時には、大勢の仲間生きる力をい  
ただけること、間違いがありません。

♡八尾市消防団に入団して  
八尾市消防団 北西方面隊長 赤岩 孝浩  
私は平成22年に勧誘を受け、当初は自分に務まる  
のかと悩みましたが、同級生や知人から「やりがい  
がある」「さまざまな年代や職業の人と知り合える」  
といった言葉をもらい、最後に「やりたくても入れ  
ない、やりたくなくても入らなければならぬ」  
それが消防団」という一言に背中を押され、入団を  
決意しました。  
入団後は、火災現場での消火活動をはじめ、台風  
や大雨時の水防活動、歳末特別警戒や巡回警備、各  
種訓練など、さまざまな消防団活動に参加してきま  
した。

また、久宝寺・美園小学校区の防災訓練をはじめ、  
かまどベンチ作り、桜まつり、燈路まつり、好きや  
ねん久宝寺まつり、スポーツ祭、とんど祭りなど、  
地域行事にも参加しました。  
分団長の時期には会議も多く、時間のやりくり  
に苦勞することもありましたが、13名の団員で分担・  
協力しながら活動してきました。

体育会系のクラブ活動のように大変な面もありま  
すが、先輩・後輩に恵まれ、楽しく続けることがで  
きました。  
今年度からは、八尾市北西部に位置する4分団を  
管轄する立場となりましたが、これからも時間の許  
す限り地域行事に参加し、地域の安全・安心のため  
に力を尽くしてまいります。  
今後とも、皆さまのご理解とご支援をよろしくお  
願いたします。

♡久宝寺の未来を支える地域力  
久宝寺地区青少年育成連絡協議会 会長 山中 郷司  
6年前、ある大先輩からのお誘いを受け、地域活  
動に携わることになりました。  
最初は、毎月のように開催される地域イベントの  
多さに驚きましたが、それ以上に、これらの活動が  
多くのボランティアの方々や地域団体の皆様のご  
力によって支えられていることに深く感銘を受けま  
した。  
私たちが暮らす久宝寺は、歴史ある行事が今もな  
お途絶えることなく続いている、数少ない地域のひ  
とつです。これもひとえに、地域活動を支えてくだ  
さる皆様のおかげです。  
活動に参加するようになってからは、町の中で知  
り合いが増え、日々助けられながら楽しく過ごして  
います。  
人と人とのつながりが、地域の活性化にもつな  
がっていると実感しています。

私が所属している「久宝寺育成会」は、久宝寺小  
学校区の小学生を対象とした活動を行う団体で、い  
わゆる「こども会」を取りまとめています。  
ドッジボール大会、家庭キャンプ、こどもまつり  
など、毎年こども達の心に残るイベントを開催して  
います。  
また、許麻神社の夏祭り、燈路まつり、市民スポー  
ツ祭などにもお手伝いとして参加しています。  
こども達と関わる中で、こども達の成長を間近で  
感じられることは何よりの喜びです。声をかけてく  
れるこども達が増えるたびに、地域活動のやりがい  
を強く感じます。  
時代の変化に合わせて少しずつ形を変えながらも  
久宝寺小学校区の子ども達が真剣に、元気で、楽し  
く育っていけるまちづくりを目指して、日々活動を  
続けています。

久宝寺には、地域を愛し支えてくださる大先輩方  
がたくさんいらっしゃいます。しかし、近年は高齢  
化が進み、地域活動も過渡期を迎えつつあります。  
ぜひ久宝寺を愛する方々に、地域活動を通じて一  
緒に楽しんでいただける仲間として加わっていただ  
きたいと願っています。

◇地域活動への参加で健康づくり！

社会参加は健康づくりとの関係もあります。  
外出の機会が増えることで、自然と体を動かす機  
会が増え、体力の維持や身体機能の維持・向上につ  
ながります。  
また、他者と交流することでストレスが軽減され  
たり、生活満足度や自尊心を高めるなど、精神的に  
も良い影響があることが分かっています。  
65歳以上の高齢者を対象にした研究では、男女共  
に社会活動を多くしている人の方が、そうでない人  
と比較し、うつになる確率が低くなる事が分かっ  
ています。さらに男性では、社会活動において何ら  
かの役割を持っている人は、役割を持たない人と比  
較し、うつの発症が著しく抑制されることも明らか  
になっています<sup>1)</sup>。  
社会活動は、身体的にも精神的にも健康に良い影  
響を与えます。

◇社会参加はフレイル予防にも効果的  
♡フレイルとその予防  
皆さんは「フレイル」という言葉を聞いたことが  
ありますか？  
「フレイル」とは、加齢によって筋力や心身の働き  
が低下して、「要介護」状態に近づいてきた状態をい  
います。高齢者の課題と思ってしまうやすいですが、  
近年は40歳代・50歳代の働く世代にもフレイルに該  
当する人がいることが分かっており、若い世代も注  
意が必要です。  
フレイルは加齢に  
伴う変化ですので、  
誰もが避けられない  
過程ですが、対策を  
することでその進む  
スピードを遅らせ、介  
護が必要となる時期  
を先延ばしにすること  
ができます。その  
ために大切な三本柱  
が、栄養、身体活動、  
そして「社会参加」  
です（図1）。

◇社会とのつながりを失うことがフレイルの入口？  
近年、「社会とのつながり」は非常に重要と考えら  
れています。  
図1は、社会とのつながりを失い、ドミノ倒しの  
ように衰えが進んでいく現象を表した「フレイルド  
ミノ」です。



図1：フレイル予防の三本柱

「定年退職をしてすることがなくなった」など、  
自宅から外出する機会が少なくなると、生活範囲が  
狭まってしまいます。その結果、精神・心理状態が  
落ち込みやすくなります。  
心の健康状態が損なわれると、食事や口腔ケアを  
することさえ面倒に感  
じるようになり、栄養  
状態や口腔機能も悪く  
なっていきます。栄養  
バランスが崩れてくる  
と、筋肉量や骨量など  
も減少し、身体機能も  
衰えていきます。身体  
を動かす元気もなくな  
り、運動不足になり、  
ますます外出しにくく  
なっていきます。  
フレイル予防のため  
にも、社会参加を通し  
て、人や社会とのつな  
がりを大切に生活して  
みましょう。

◇みんなの健康をみんなで守る地域づくり  
八尾市では、市民のみなさんの主体的な健康づく  
りを地域と行政が協働して支えるための指針となる  
「八尾市健康まちづくり計画」を令和4年度に策定し  
ました。  
この計画では、「みんなの健康をみんなで守る市民  
が主役の健康づくり」を基本理念に、「健康寿命の延  
伸」「健康コミュニティづくりの推進」を基本目標と  
して設定しています。その達成に向けて掲げている  
基本方針3つが、「一人ひとりの主体的な健康づくり  
の推進」「生活習慣病の発症予防と重症化予防の推  
進」、そして「市民の健康を支える地域づくりの推進」  
です。  
久宝寺小学校区にお住まいの皆さまが、健康に長  
生きしていただくためには、地域役  
員・地域有志によるボランティアの  
皆さまのお力が欠かせません。  
地域全体の健康増進のため、多く  
の方と共に地域活動について考える  
ことができます。



図2：フレイルドミノ

\*出典  
1) 高木大資（東京大学大学院医学系研究科）役割  
を担って社会参加している男性ではうつのリスクは  
7分の1、JAGES Press Release NO:48-14-002  
（八尾市健康福祉部健康推進課 保健師）

地域で見守る 子ども達の健やかな成長！

♡「住民懇話会」を開催しました！

夏休みは、子ども達にとって自由な時間が増える一方で、犯罪やいろいろなトラブルに巻き込まれるリスクの高まる時期です。

夏休みを間近に控えた7月11日(金)、久宝寺コミュニティセンターで、家庭はもとより地域全体で子ども達を見守る気持ちを高め、また、知識を深めるために、「見守ろう子ども達の夏と未来」をテーマに、二部の構成で講演会を開催しました。

第一部として、八尾警察署防犯保安係 徳田警部補から「子ども達を危険から守るために」、第二部として、八尾消費生活センター 中野相談員から「消費者トラブルに巻き込まれないように」を話題に講話をいただきました。

第一部では、子ども達を取り巻く危険の事例の紹介と、「イカのおすし」をキーワードに、日頃からの子どもとのコミュニケーションや生活上のルールづくり、また、「自分の身は自分で守る、家族のことは家族で守る」心構えが基本であるとお話がありました。

「イカのおすし」とは、子ども達に防犯意識をわかりやすく教える標語で、「いかに知らない人についていけない」「知らない知らない人の車に乗らない」「おおごえをだす助けを求めて大きな声を出す」「すぐに上げる場から逃げる」「しらせると近くの大人や家の人に知らせる」を、自分を守る約束として、おぼえやすい言葉にしたものです。

そして、最後には、依然として減る傾向の無い「特殊詐欺」への注意喚起がありました。

今年8月末時点の八尾市での被害件数は84件、被害額は、約1億1660万円です。

一方、昨今のスマートフォンやタブレットの普及により、SNSが子ども達にとっても身近な存在となり、友達との連絡や情報交換、趣味の発信などコミュニケーションにかかせないツールになっている反面、子ども達がいじめやいじめや犯罪に巻き込まれる深刻なリスクも潜んでいます。

第二部では、それらトラブルの実情と、ゲームソフトのインストール時の配慮点・フィルタリングの工夫・スマホの貸し借りなど、トラブルを避けるための具体的な注意点や対策について説明がありました。



そして、今や、子ども達に教えてもらいながら、親自らも興味をもって子どもに接して、一緒に使って使い方を考える姿勢の大切さの訴えがありました。

♡まきこまねいように！(配布資料からの抜粋)

◇みんなで行こう！子どもの安全

子どもだけになりやすい状況では、いつも以上に注意が必要です！

・道路…一人で歩くときは、急に近づいてくる人に気を付けて歩く。  
・駐車場・駐輪場…「車で送ってあげる」と言われたら断って逃げる。  
・公園…見通しの悪い場所では遊ばない。  
・集合住宅の共用部分(玄関/廊下/階段/エレベータ)…後ろからついてくる人がいないか気を付ける。

②どんな事件がどんな時におきているの？  
・どんなことが…体を触られる…声をかけられてどこかに連れ去られる…嫌なことを言われたりつきまとわれたりする。

③日頃の行動をチェックしてみよう！  
□一人にならない…外ではなるべく一人にならない。  
□一人でいるときは、人通りの多い道やお店がある道を歩く。

□声をかけられ、変だなと思ったらきっぱり断る。  
□人に誘われてもついていけない。車にのらない。  
□こわいと思ったら、大声を出したり、防犯ブザーを使っておとなのひとに知らせる。  
□外に出かけるときは、おうちに帰る時間を言う。(出典:大阪府警「みんなで行こう！子どもの安全」)

◇ちょっと待って！クリック前に確認を！

①ワンクリック詐欺に注意！  
・アクセスしただけで入会したことになった場合、契約の無効を主張できる。無視し連絡しないこと。

②ネットオークション詐欺に注意！  
・利用規約やガイドラインをよく読む。  
・落札後、出品者の住所・氏名・電話番号を確認する。  
・売買記録は、都度プリントアウトして保存する。  
・高額商品の場合は、先払いは禁物。

③コンピュータウイルスに注意！  
・ウイルス対策ソフトやセキュリティソフトの導入、知らない人から来たメールは慎重に扱う。  
・心当たりのないファイルは開かない。  
・気軽にフリーソフトをインストールしない。

④フィッシング詐欺に注意！  
・実在する銀行やクレジット会社の名前でメールが来ても、すぐに信用しない。  
・「口座番号確認のため」「当選しました」など言葉巧みに誘われても安易にアクセスしない。  
・個人情報を入力させるサイトには常に用心する。(出典:八尾市消費生活センター啓発資料)

◇「校庭キャンプ」で絆づくり！

夏休み期間中の8月16日(土)から17日(日)にかけて、久宝寺小学校区まちづくり協議会と久宝寺地区育成会(こども会)の共催で、久宝寺小学校で恒例の「校庭キャンプ」を実施しました。

子ども達、保護者や地域の皆さま約280名の参加があり、カレー作りや飯盒炊き、防災の勉強として「防災クイズ」を行い、夜にはキャンプファイヤーや打ち上げ花火をみんで楽しみました。

その後、泊りの5、6年生は、地域の代表や保護者で作った力作の自家製「お化け屋敷」を怖いながらも挑戦しました。

子ども達が、学校という身近な環境で、楽しみながら一緒に過ごすことにより、チームワークを育て、また集団活動を通して自主性や協調性を養う機会になったと同時に、貴重な夏の思い出となったことでしょう。



◇みんな明るく朝の触れ合い！

7月1日(火)、久宝寺小学校と久宝寺中学校正門や通学路で、「社会を明るくする運動」の一環として「登校時の声掛け運動」を行いました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行のない安全で安心な社会を築くことを目的とした全国的な運動で、地域住民一人ひとりが青少年の健全な育成に理解と協力を深めることを目的としています。

地域社会が連携し、支え合いの輪を広げることで、人にやさしく、誰もが暮らしやすい地域づくりに寄与する意義をもっています。

当日は、久宝寺地区福祉委員会の構成団体有志の皆さんが、登校する子ども達と「お早うございます！」の元気な声を掛け合いました。



ほんの短い時間でしたが、お互いに声を掛け合うことによって、安心感や一体感が生まれ、地域と子ども達との明るいつながりをつくる機会になったひと時でした。

♡元気いっぱい！校庭「ドッジボール大会」

久宝寺小学校区まちづくり協議会と久宝寺地区育成会(こども会)の主催で、6月15日(日)午前中、久宝寺小学校のグラウンドで、「ドッジボール大会」を開催しました。

昨今、地域で子ども達の遊び場が少なくなっている中、休校日の午前中、思い切り身体を動かして、友達と「ドッジボール」に熱中しながら交流を深める場として、毎年この時期に開催しているものです。

当日は、例年にも増して暑さの増した日でしたが、参加した約150名の地域の子も達は、歓声をあげながら熱戦を繰り広げていました。

学年やクラスの枠を超えてのチームづくりで、日頃の学校生活では得られない交流やコミュニケーションの好機になったのではないのでしょうか。



♡笑顔あふれる放課後子ども教室「るんるん教室」！

「るんるん教室」は、地域の有志が小学生と交流しながら、遊びや文化活動を通して、子ども達の豊かな心と社会性を育むことを目標にした場です。

地域の有志の皆さんで構成する「久宝寺地区放課後子ども教室運営委員会」が、週日の放課後に、毎回午後2時半から3時半までの一時間、久宝寺小学校の体育館や多目的室などで実施しているもので、今年度も6月から10月までに5回開催しました。

「むかしの遊び」「将棋・オセロ」「クラフト」「もじ遊び」「図画」「作法」「読書」の講座を準備し、地域の方々の指導のもと、お互いに和気あいあいと時間を過ごしています。

特に、子ども達にとって、放課後の安全な居場所として、大人達にとっては、元気をもらえる機会として、世代を超えたふれあいと学びの場となっています。



子ども達にとっては、放課後の安全な居場所として、大人達にとっては、元気をもらえる機会として、世代を超えたふれあいと学びの場となっています。

令和7年度上期の振り返り

♡活気が戻ってきた！ つながる心の輪！

今や記憶が薄れつつあるコロナ禍の3年間の制約と停滞で、日常の生活や、久宝寺地区の活動や行事にも深い影響を受けました。住民皆さまの集まりや触れ合いが制限される中で、地域のつながりや交流がめっきり少なくなり、人と人との関係が希薄になりがちになったことも否めませんでした。

しかし、昨年度一年間、皆さまのご協力ご支援のもとで、日常を取り戻す活動を、地域を挙げて行い、お陰様で恒例の行事や活動が、コロナ禍以前のように実施されるようになったことは、とてもうれしいことです。

中でも、久宝寺を挙げての二大行事「好きやねん久宝寺まつり」と「市民スポーツ祭」が従来の盛況を取り戻したことは、ただ賑わいが戻ってきたというのみならず、地域の絆と連帯の強さの証といえるのではないのでしょうか。

◆笑顔があふれた「好きやねん久宝寺まつり」  
9月21日(日)、「好きやねん久宝寺まつり」を、久宝寺地区福祉委員会主催のもと久宝寺小学校で開催しました。

企画から準備・運営や出演まで、地区の団体や関係機関の皆さまによる地域を挙げての初秋の恒例のおまつりです。

体育館では、幼児や小学生のダンスやダブルダッチ、コーラス、剣道演武など多彩なプログラムが舞台を飾りました。また、先生方による手品は子ども達に大人気で、トリを飾った久宝寺中学校吹奏楽の演奏は見事でした。



残暑のまだ厳しい中、ご来場いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

♡待ちに待った秋「市民スポーツ祭」を開催！  
10月12日(日)、「第48回 市民スポーツ祭」を久宝寺地区福祉委員会主催のもと、久宝寺中学校グラウンドで開催しました。

当日は、一気に秋めいた日で、時折小雨の降る生憎の天候でしたが、グラウンド周辺に久宝寺各地域のテントが立ちならぶ中、多くの参加者や来場者で賑わいました。

地域ごとの元気な入場行進から始まり、幼児から高齢者まで多彩な競技を楽しみました。子ども達による徒競走をはじめ、地域や団体対抗の綱引き・冒険リレーやむかで競争では白熱した熱戦になり、地区一丸となって参加や応援で一日を楽しみました。

当日、競技参加や観戦で盛り上げていただいた皆さま、また、前日の準備から当日のお手伝いをいただいたスタッフの皆さま、一日お疲れさまでした。秋の日、身近なスポーツを通して地域が集い、より一層、地域の結びつきを深めることができた一日になりました。



野外では、焼きそばやかき氷、ポテトやスーパードール、千本引きなど、また、消防車にも乗れる体験もでき、子どもも大人も笑顔いっぱい楽しい休日を通しました。

また、校舎では、クラフト遊びやバザーが催され、「愛の献血」が実施されました。献血にご協力をいただいた皆さま、ありがとうございました。

第48回市民スポーツ祭の結果 (地区対抗・団体競技順位) (敬称略)

種目	順位	地区名
地区対抗綱引き	1位	シャルム
	2位	高砂
	3位	南一
	4位	南久宝寺A
地区対抗冒険リレー	1位	中北A
	2位	中北B
	3位	真砂
	4位	高砂A
むかで競争	1位	久宝寺小学校PTA
	2位	来賣
	3位	久宝寺中学校PTA



♡12回目を迎えました！ 「久宝寺内町で婚活」

出会いの機会が少なくなっているといわれる昨今、平成28年に始まった婚活イベント「久宝寺内町で婚活」が12回目を迎えました。

校区まちづくり協議会主催で開催しているイベントで、単なる出会いの場の提供にとどまらず、地域の歴史的資産を活かし、地域文化の再発見と継承の機会にもなっています。

歴史ある場所を舞台に、この間、開催の都度に趣向を凝らし工夫を加えてきた手作りのプログラムで、参加者同士をはじめ、お世話役の実行委員会のメンバーとの交流を通じて、久宝寺ファンの拡大や若い世代の定住促進にもつなげることを目指しています。

9月7日(日)に開催した12回目は、久宝寺内町顕証寺を会場にして、10名の男性と11名の女性の参加がありました。

全員とお話しする自己紹介タイムのあと、昼食ではサンドイッチをつまみながら歓談し、恒例のボ-



♡防災リーダー＆防災士 「意見交換会」を実施しました！

9月28日(日)、久宝寺コミュニティセンター集会所で防災についての意見交換会を実施しました。今回は、久宝寺在住の消防署職員・職員経験者、消防団員、また防災リーダー・防災士の認定を受けている防災に関する知識・実践訓練や経験をもつ皆さま約30名に参加を呼びかけて開催した初めての場です。

当日は、地域毎に4つのグループに分かれて、初顔合わせにちなんで自己紹介からスタートし、現在策定中の「地区防災計画」の共有と内容の討議、ついで、11月23日(日)に実施の「防災訓練」の実施内容の確認と意見交換をワークシヨップ形式で行い、まとめとして、討議した内容を各グループから発表し合いました。意見交換会で出された意見やアイデアは、今後、「地区防災計画」や「防災訓練」の充実に活かしていきます。

今回の「意見交換会」は、これまで、個々に活躍していた防災に関わる団体や人材が一堂に会し、久宝寺地区の防災体制をより実効性のあるものとすることを目指したものです。

今回の機会をきっかけにして、お互いの顔が見える関係づくりは、イザという時の連携・情報共有を可能にし、さらに、参加された皆さまが中心となつて地域や次世代への啓発活動や訓練を担うことと、久宝寺地区の防災意識と対応力の底上げが期待されます。

今回の意見交換会は、地域の力を集め、共助の輪を広げる意義ある場となりました。

